

令和3年12月18日

「日本骨髄バンク」 設立 30 周年 「想像力が、いのちを救う。」アクションステートメント発表

公益財団法人日本骨髄バンク
理事長 小寺 良尚

日本骨髄バンク（東京都千代田区 理事長 小寺良尚）は、1991年12月18日に設立、本日30周年を迎えます。これを機に日本骨髄バンクでは、「想像力が、いのちを救う。」を合言葉に各種アクションを始動するべく、ステートメント(次ページ)を発表します。

これまでの活動を通じ骨髄バンクへの理解は拡がり、ドナー登録への多くの賛同・参加をいただいておりますことを各方面に感謝いたします。一方で、骨髄バンクドナーからの移植を希望しても、実際に移植に至る患者は、その6割弱にとどまっています。適合しても、ドナーが勤め先や学校で休暇を取りづらいなど、その背景が大きく影響しており、我々はドナー登録者数の拡大と共に、ドナーの提供を後押しできる環境の整備に注力すべきと考えています。

たとえば企業や団体のドナー休暇制度などの導入はまだまだ進んでいない状況です。日本骨髄バンクは30周年を機に、これらの制度導入を検討いただき、またその普及と定着に賛同・協力いただけるような企業・団体との様々なコラボレーションを生み出すべく「想像力が、いのちを救う。」アクションを始動します。その意志を表明するのが以下のステートメントです。具体的な活動計画については今後、順次発表する予定です。

日本骨髄バンクは引き続き、「移植を必要とするすべての患者に、最良のドナーからの造血幹細胞を、最適な時期に届ける」を目標に、より一層の努力を続けてまいります。

<参考>

日本骨髄バンクは白血病などの血液疾患の患者さんを救命するため、広く国民の皆さまから骨髄提供希望者（ドナー）を募り、患者さんへ骨髄・末梢血幹細胞を提供する橋渡しを行っています。2021年11月末現在で累計ドナー登録者数は538,163人、累計骨髄・末梢血幹細胞移植数は26,122件です。年間の新規登録患者数は約2,000人ですが、近年の移植数は年間1,100～1,300件にとどまっています。

想像力が、いのちを救う。

日本骨髄バンクは、2021年12月18日に設立30周年を迎えました。

白血病が不治の病と言われた時代から30年間、

私たちを支えてくれたのはいつも、誰かのいのちを想う力です。

日常を取り戻す日を想像し、頑張り続けた患者さんご家族の皆さま。

患者さんの明るい未来を想像し、諦めなかった医療スタッフの皆さま。

骨髄移植で救われる多くの命を想像し、骨髄バンクの設立、

ドナー登録者拡大のために奮闘したボランティアの皆さま。

そして、難病と戦う人々の心を想像し、ドナー登録をした大勢の皆さまのおかげで、

これまでに2万6000人以上の患者さんが、生きるチャンスを手にしてきました。

どんな時も、どんな困難でも、想像力が行動を起こし、

未来をつくることを私たちは学んできました。

いま世界には、多くの想像力が必要とされています。

日本骨髄バンクはこれから新たに、より多くの皆さまとともに、

かけがえの無いいのちについての想像力を、もっともっと広げたい。

救えるいのちが、全て救えるその日まで。



日本骨髄バンク